

多様性と困難への寛容度尺度の日本語版の作成と信頼性・妥当性の検討

○飯田順子（筑波大学）
堀口康太（白百合女子大学）
大川一郎（筑波大学）
遠藤寛子（埼玉学園大学）

青山郁子（都留文科大学）
藤原健志（新潟県立大学）
杉本希映（目白大学）

キーワード：多様性，尺度作成，高等教育

問題と目的

社会が多様化していく中で、多様な文化や背景、価値観をもつ人々とのように共生していくかが、1つの重要な課題である。多様性を受け入れる態度が低いことは、いじめや差別にもつながることが懸念される。様々な地域や国から学生が集まって学ぶ大学や大学院などの高等教育機関の役割の1つは、多様性を尊重する態度を養うことである（Pascarella et al., 1996）。本研究は、Pascarella et al. (1996)が作成した“多様性と困難への寛容度”尺度の日本語版を作成し、信頼性・妥当性を検討することを目的とする。

方 法

調査協力者 関東の2大学・大学院に所属する153名を対象とした（男性71名，女性82名）。

実施時期 2017年6月—7月。

調査内容

個人属性 性別，年齢，海外経験を尋ねた。

多様性と困難への寛容度尺度 前述のPascarella et al. (1996)が作成した尺度。8項目。「1. 全くあてはまらない」～「5. とてもよくあてはまる」の5件法。原著者に翻訳及び日本での使用の許可をとり，バックトランスレーションのプロセスに基づいて，日本語への翻訳，日本語から英語への再翻訳，英語での翻訳と原版との訳の一致の確認，文言の調整を行った。

併存的妥当性の検討のため，①～③を実施

①自尊感情尺度（山本他，1982）10項目，5件法。②自己効力感（成田他，1995）23項目，4件法。③Big Five 尺度短縮版（並川他，2012）29項目，7件法。

結 果

多様性と困難への寛容度尺度主成分分析

8項目を用いて主成分分析を実施した結果，第1主成分の負荷量はすべて.50以上となった

（Table 1）。8項目の寄与率は42.77， α 係数は.80であった。よって，8項目は一因子構造であると確認された。各項目の平均値の範囲は，3.52～4.07であった。

Table 1 多様性・困難への寛容度尺度の主成分分析結果・記述統計

	負荷量	<i>M</i>	<i>SD</i>
1. 自分と違う考えや価値観をもつ人と話し合いをすることは楽しい。	.54	3.98	.89
2. 大学教育の本当の価値は、違う価値観にふれることである。	.56	3.71	.92
3. 自分と違う価値観をもつ人と話をするとは、自分自身や自分の価値観を知ることができ、きるので楽しい。	.72	4.01	.79
4. 違う文化からきている人について学ぶことは、大学教育においても重要な一部である	.67	3.96	.91
5. 自分の信念や価値観が問われるような授業をとることは楽しい。	.72	3.97	.96
6. 違う視点から物事を考えさせられる授業が最も楽しい。	.69	4.07	.80
7. 自分と背景（例、人種、国籍、性的指向性）が異なる人と接することは、自分の大学生活の必要不可欠な要素である。	.62	3.52	1.08
8. 知的に挑戦しがいのある授業を楽しんでいる。	.69	3.98	.91
固有値		3.42	
寄与率		42.77	

多様性と困難への寛容度尺度の併存的妥当性

多様性と困難への寛容度とその他の既存の関連が予測された尺度との相関分析の結果を，Table 2に示す。自己効力感との相関は $r=.44$ ，自尊感情との相関は $r=.27$ でありいずれも1%水準で有意であった。また，Big Fiveで測定された性格特性との関連は，外向性，開放性，調和性と有意な正の相関が示された（ $r=.26-.31$ ， $ps<.01$ ）。

Table 2 併存的妥当性の検討（その他の尺度との相関分析）

	自己効力感	自尊感情	外向性	誠実性	情緒不安定性	開放性	調和性
多様性への寛容度	r .44**	.27**	.27**	.12	-.16	.31**	.26**
	<i>n</i> 150	151	151	152	152	152	151

** $p<.01$ ，* $p<.05$

考 察

本研究の結果，“多様性と困難への寛容度尺度”日本語版の信頼性・併存的妥当性が一定程度示された。今後は，この尺度を用いて，多様性と困難への寛容度といじめや差別的言動との関連を検討することや，大学生活や授業のどのような要素がこの変数が高めるか検討が必要である。

付 記

本研究は，日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C，課題番号17K04341）の助成を受けている。